

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	韓国語 I (Korean I)					担当教員	権 五景 (グォン オーギョン)		
科目コード	111013-14000								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目								

① 授業のねらい・概要

日本語の語順とほぼ同じであり、文法も酷似している隣国朝鮮半島の言葉（韓国語）と文字（ハングル）を学ぶ。韓国語は世界の言語の中で最も日本語と似ており、短期間で最も上達できる言語である。韓国語と日本語が似ていることは前期ではそれほど体感することはできないが、後期になるとたくさん体感できる。ところで、「外国語一つぐらいできなきゃ」の時代に生きている。その外国語を韓国語にし、積極的に挑戦してほしい。前期は主に文字の読み書きができるようになり、後期は簡単な会話ができるようになる。また、授業内容は基礎的なものである。「ハングル」能力検定試験5級に対応している。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

コミュニケーション能力

③ 授業の進め方・指示事項

大きな声で発声し、反復学習を行う。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

なし

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 文字の読み書きができること
- (ii) 簡単な日常会話ができること

⑥ テキスト（教科書）

ギム・ジョンスグ他（2020）『世宗韓国語1』韓国国立国語院
初回の授業時に閲覧方法を紹介する。

⑦ 参考図書・指定図書

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%	10%			20%		100%
(i) 文字の読み書きができること	25%	10%	5%			10%		50%
(ii) 簡単な日常会話が できること	25%	10%	5%			10%		50%
フィードバックの方法	添削して返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業時間中には大声で発音をしてほしい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	講義ガイダンスとハングルについて	ノート	ハングル創製の原理としての天地人と陰陽の考え方	30分
2	母音字とその発音（Ⅰ）	配布資料	短母音の暗記	60分
3	母音字とその発音（Ⅱ）	配布資料	複母音の暗記	60分
4	子音字とその発音（Ⅰ）	配布資料	基本子音の暗記	90分
5	子音字とその発音（Ⅱ）	配布資料	その他の子音の暗記	60分
6	激音と濃音	配布資料	ティッシュペーパーを使った発音の練習	30分
7	複合母音	配布資料	ルール通りではない母音の暗記	60分
8	バッチムの基本	配布資料	0 1 ・ 1 0 の法則	60分
9	バッチムの応用	配布資料	0 1 ・ 1 0 以外の法則	90分
10	動詞	配布資料	陽性母音、陰性母音、する動詞	90分

11	形容詞	配布資料	パターン別変化の暗記	90分
12	連音 (I)	配布資料	次の文字の初声が母音の場合	30分
13	連音 (II)	配布資料	次の文字の初声が子音の場合	90分
14	疑問文	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	90分
15	否定文	配布資料	2つのパターンの練習	60分
16	時制	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
17	敬語	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
18	数詞	配布資料	固有数詞の変化暗記	60分
19	各種単位	配布資料	固有語と漢字語	90分
20	動詞変化	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
21	形容詞変化	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
22	接続詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	90分
23	漢字の発音	配布資料	韓国語と日本語の共通点と相違点	90分
24	呼称	配布資料	敬語と合わせて練習	60分
25	疑問詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	60分
26	指示代名詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	60分
27	副詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	90分
28	勧誘の表現	配布資料	敬語と合わせて暗記	90分
29	語尾	配布資料	敬語と合わせて暗記	60分

30	辞書の活用法	配布資料	インターネット上の辞書の活用	60分
----	--------	------	----------------	-----

⑪ アクティブラーニングについて				
読み書き能力の確認のため、簡単な小テストを行う。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				